

## 電気工事 訂正のお知らせ

以下のように訂正いたします。

### ●67頁 下から2行目

～JIS C 8305 : 1999 「鋼製電線管」に～ → ～JIS C 8305 : 2019 「鋼製電線管」に～

### ●67頁 表3-7のタイトル

表3-7 厚鋼電線管の呼び方, ～ (JIS C 8305 : 1999)



表3-7 厚鋼電線管の呼び, ～ (JIS C 8305 : 2019)

### ●67頁 表3-7の表頭の左端

呼び方 → 呼び

### ●67頁 表3-7の【注】2.

2. 管の1束(50kg以内)ごと質量許容差は、～規定しない。

ただし, 質量許容差の算出方法は, ～百分率で表す。質量の数値は, ～次の式により計算し, JIS Z 8401 (数値の丸め方) によって有効数字3けたに丸める。



2. 鋼製電線管の1束(50kg以内)ごと質量許容差は、～規定しない。質量許容差の算出方法は, ～百分率で表す。質量の数値は, ～次の式によって求め, JIS Z 8401 によって有効数字3桁に丸める。

### ●68頁 表3-8のタイトル

表3-8 薄鋼電線管の呼び方, ～ (JIS C 8305 : 1999)



表3-8 薄鋼電線管の呼び, ～ (JIS C 8305 : 2019)

●68頁 表3-8の表頭の左端

呼び方 → 呼び

●68頁 表3-9のタイトル

表3-9 ねじなし電線管の呼び方, ~ (JIS C 8305 : 1999)



表3-9 ねじなし電線管の呼び, ~ (JIS C 8305 : 2019)

●68頁 表3-9の表頭の左端

呼び方 → 呼び

●87頁 表3-25『硬質ビニル電線管寸法表』のタイトルと表を、以下に差し替える。

表3-25 硬質ビニル電線管寸法表 (JIS C 8430 : 2019)

呼び	寸法							参 考	
	外 径			厚 さ		長 さ			
	基準寸法 [mm]	最大・最小 外径の許容差 [mm]	平均外径 の許容差 [mm]	最小 [mm]	許容差 [mm]	基準寸法 [mm]	許容差 [mm]	概略内径 [mm]	1 m 当 たりの質量 [kg]
VE14	18.0	± 0.2	± 0.2	1.8	+ 0.4	4 000	± 10	14	0.144
VE16	22.0							18	0.180
VE22	26.0							22	0.216
VE28	34.0	± 0.3		2.7	+ 0.6			28	0.418
VE36	42.0			3.1				35	0.590
VE42	48.0			3.6				40	0.773
VE54	60.0	± 0.4		4.1	+ 0.8			51	1.122
VE70	76.0	± 0.5						67	1.445
VE82	89.0		5.5	77				2.203	

- 〔備考〕
1. 最大・最小外径の許容差とは、任意の断面における外径の測定値の最大値及び最小値（最大・最小外径）と、基準寸法との差をいう。
  2. 平均外径の許容差とは、任意の断面における円周の測定値を円周率で除した値、又は同一円周上において等間隔な2か所の外径の測定値の平均値（平均外径）と、基準寸法との差をいう。
  3. 1 m 当たりの質量とは、管の寸法を許容差の中心とし、密度を 1.43 g/cm<sup>3</sup> として計算したものである。

●102 頁 上から 13 行目

～JIS C 8309 : 1999 「金属製可とう電線管」に～



～JIS C 8309 : 2019 「金属製可とう電線管」に～

●103 頁 表 3-36 のタイトルの (JIS) の年号

(JIS C 8309 : 1999) → (JIS C 8309 : 2019)

●103 頁 表 3-36 の表頭の左端

可とう管の呼び → 呼び

●103 頁 表 3-37 のタイトルの (JIS) の年号

(JIS C 8309 : 1999) → (JIS C 8309 : 2019)

●103 頁 表 3-37 の表頭の左端

ビニル被膜可とう管の呼び → 呼び

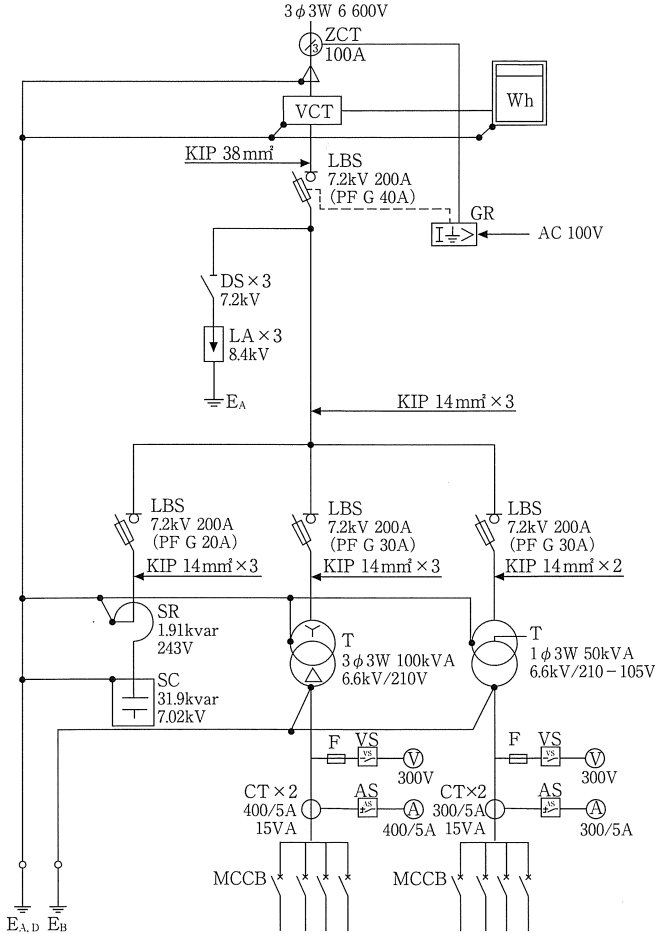
●178 頁 表 5-1 のタイトルの (「高圧受電設備規程 JEAC8011」) の年号

JEAC8011-2014 → JEAC8011-2020

●178 頁 表 5-1 の備考

～, 充分な高さを～ → ～, 十分な高さを～

●186 頁 図6-1 『高圧受変電設備結線図と文字記号(例)』 の左図を、以下に差し替える。(※右表の文字記号と機器名には、訂正はありません。)



備考：主遮断装置一次側の絶縁電線（KIP38mm<sup>2</sup>）は、一般送配電業者の配電線亘長が短い等により許容短絡電流値を超過するおそれがあるが、この区間の短絡故障に関する発生確率の低さや経済性等を考慮して選定したものである。

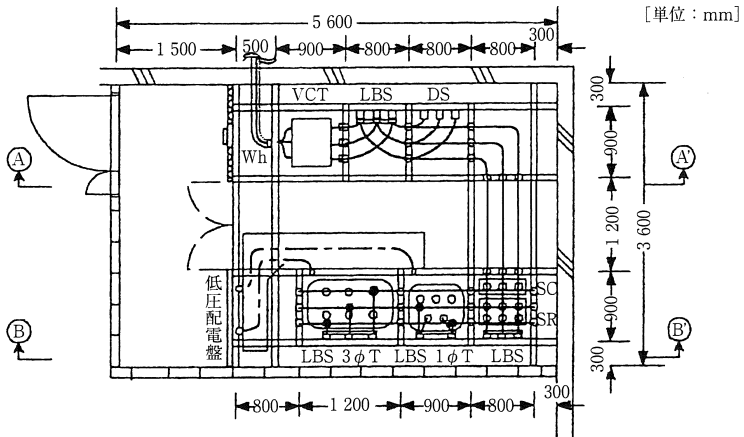
(「高圧受電設備規程 JEAC 8011-2020」1140-7図(その1))

図6-1 高圧受変電設備結線図と文字記号(例)

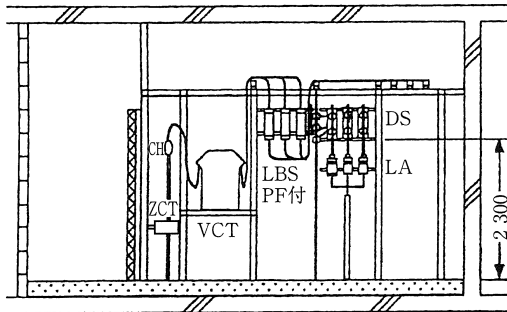
●187頁 図6-2のタイトルの（「高圧受電設備規程 JEAC8011」）の年号

JEAC8011-2014 → JEAC8011-2020

●187頁 図6-2『硬質ビニル電線管寸法表』の(a)(b)の図を、以下に差し替える。



(a) 平面図



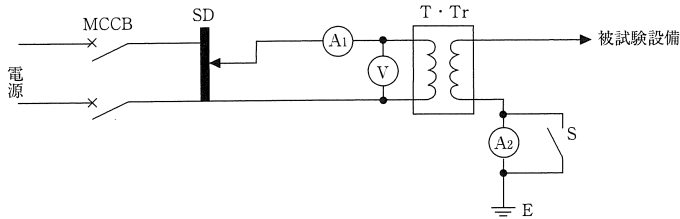
(b) 側面図(A-A')

●190 頁 表 6-2 『遮断機の定格』 のタイトルと表を、以下に差し替える。

表 6-2 遮断機の定格 (JIS C 4603 : 2019)

定格電圧 [kV]	定格遮断電流 [kA]	定格遮断時間 サイクル	定格電流 [A]	定格短時間耐電流 [kA]	定格投入電流 [kA]
3.6	8.0	3 又は 5	400 又は 600	8.0	20
	16.0	3 又は 5	400 又は 600	16.0	40
7.2	8.0	3 又は 5	400 又は 600	8.0	20
	12.5	3 又は 5	400 又は 600	12.5	31.5

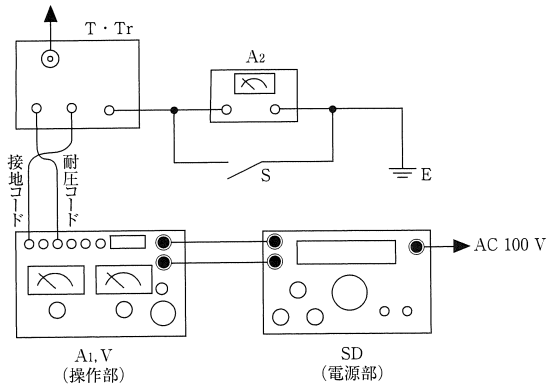
●196 頁 図 6-12 『絶縁耐力試験回路図及び結線図 (例)』 のタイトルと図を、以下に差し替える。



MCCB : 配線用遮断器(電源用)  
SD : 電圧調整器(スライダック等)  
A1 : 一次電流測定用電流計  
V : 一次電圧測定用電圧計

T・Tr : 試験用変圧器  
A2 : 充電電流測定用電流計  
S : 短絡用スイッチ

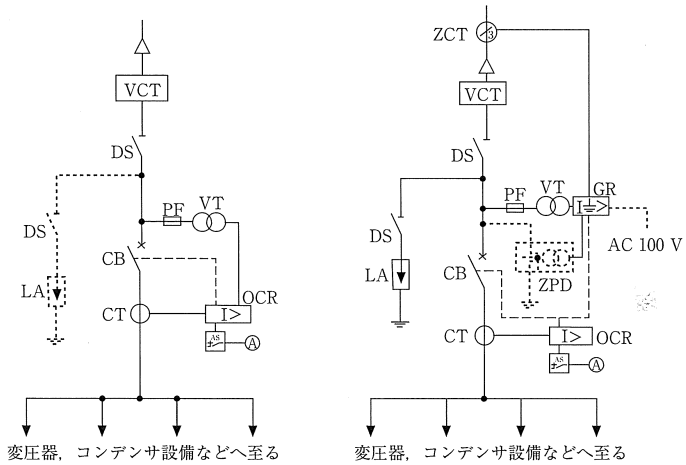
(a) 回路図



(b) 結線図

図 6-12 絶縁耐力試験回路図及び結線図 (例) (「高圧受電設備規程 JEAC 8011-2020」 1330-1 図)

●212 頁 図6-31 『CB 形単線結線図』 のタイトルと図を、以下に差し替える。



(a) 受電点に GR 付 PAS 等があるもの (b) 受電点に GR 付 PAS 等がないもの

備考：(1)点線のZPDは、DGRの場合に付加する。

(2)点線のAC100Vは、変圧器二次側から電源をとる場合を示す。

図6-31 CB形単線結線図（「高圧受電設備規程 JEAC 8011-2020」1140-2 図）

●213 頁 図6-32のタイトルの（「高圧受電設備規程 JEAC8011」）の年号

JEAC8011-2014 → JEAC8011-2020

●220 頁 図6-41 『CB形単線結線図』 の図を、以下に差し替える。

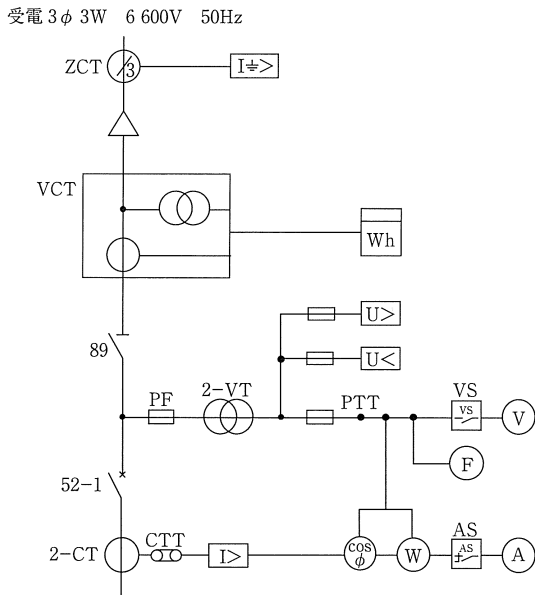


図6-41 単線結線図